

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

## 【テーマ】国産材建具“間仕切”開発・普及事業

### 背景と目的

#### 【背景】

・木製建具の衰退により、国産材利用が減少し職人が激減している

#### 【目的】

- ・日本の風土に適した建具“間仕切り”。和洋の垣根をこえ、また新しい用途、デザインと機能性を備えた商品を開発し、その魅力を発信する
- ・上記により国産材の利用促進、普及につなげる

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

国産材を用い現代社会のニーズにあった、モダンで意匠も機能も備えた間仕切、オフィスシーンにも活用できる斬新でユニークなアイデア

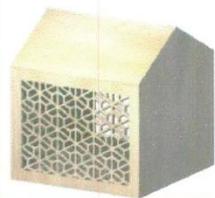
- ①部屋(住宅)のインテリアとしての間仕切
- ②オフィスシーンにおける上質なインテリアとしての間仕切
- ③フリーアドレスなデスク上にプライバシーを設ける間仕切(オフィス篇)
- ④持ち運び可能なダイニングテーブル上で集中を育てる間仕切(子供篇)

#### 日本の風土に適した建具

狭い空間でもプライベートと集中の空間を創りだせる和の知恵が活きる建具

#### 写真・図等

伝統工芸の世界にとどまらせるのではなく、木をさまざまに切り出す技術を活かした意匠や素材であるヒノキの香りを活かした間仕切り等、新しい切り口で工夫し職人の技が活きた建具を開発し国内だけでなく国外へのアピールする



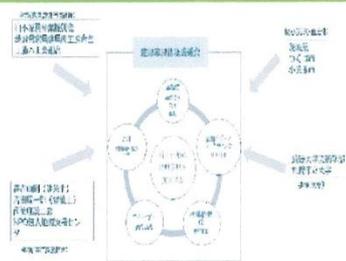
### 事業実施主体

建具家具普及協議会

### 実施体制・連携グループ

◎木材加工の専門業者、草苺木工を中心として、設計チーム(1級建築士、2級建築士、設計事務所)、加工チームの他、住宅、商業施設の専門家と健康と生活の在り方等健康工学のプロ、マーケティングのプロにより開発チームを構築。

さらに普及啓発に際しては、PR、メディア戦略によるPR計画を策定し本事業を推進。



### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

「木材加工のプロ」「建築・設計」のプロを中心に、「健康工学のプロ」「働き方改革のプロ」「食と健康のプロ」等、生活提案、住まい方提案のできるプロ集団より、新しい建具に関するヒアリングを十分に行った結果から新商品の開発をおこなう。

国際展示会への出展により、和への注目度が高まっている海外へのていなの他、都内近郊にて開発商品の展示会を開催し、工務店や設計士、インテリアデザイナーへ商品の魅力を訴求し、さらに住宅のインテリアとしてだけではなく、オフィス内装までさまざまなニーズへの深い対応力を伝える。また消費者に対してはマーケティングを実施し、次回への足掛かりを着実にする体制構築を図る。

- ①国際展示会出展(IFFTインテリアライフスタイルリビング)
- ②展示会開催 都内事務局、つくば市その他における展示発表会開催
- ③PR紙制作・配布
- ④WEB上でのPR

### スケジュール

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

協議会

協議会

協議会

インテリア  
ライフリビング  
出展

展示会

展示会

展示会

報告書作成

商品開発

設計・制作

WEB制作

WEB・PR